15周年記念誌

2010-2025

茨城県ユニセフ協会

目　次

1.　15周年を迎えて　　ごあいさつ

2.　15年のあゆみ

3.　地域とともに

4.　募金の推移

5.　ユニセフってなあに？

6.　ボランティアのみなさん

7.　2025年度役員名簿

8.　未来に向けて

15周年を迎えて

茨城県ユニセフ協会会長
茨城大学学長
太田　寛行

ごあいさつ

茨城県ユニセフ協会は、本年、設立15周年を迎えることができました。設立当初よりご尽力くださった皆様、そして活動を支えてくださった多くの方々のご理解とご支援の賜物と、心より御礼申し上げます。
ユニセフの理念は「すべての子どもに、生きる権利と希望ある未来を」です。しかし、今も世界では紛争や貧困、教育機会の格差など、子どもたちを取り巻く環境は厳しさを増しています。未来を担う子どもたちが、平和で健やかに育つことのできる社会の実現が今まで以上に求められています。
国連のSDGsの達成期限まで、いよいよ残された時間はわずかとなりました。この15周年という節目にあたり、SDGsが示す目標を改めて捉え直し、子どもたちのために何ができるかを考え、行動に移す契機としたいと存じます。

公益財団法人
日本ユニセフ協会会長
高須　幸雄

ごあいさつ

茨城県ユニセフ協会設立15周年、誠におめでとうございます。2010年の発足以来、貴協会は子どもたちの健やかな成長と明るい未来のために、絶え間ないご努力と情熱を注いでこられました。募金活動や地元の学校へのユニセフ出前授業をはじめ、講演会やサッカー教室などの恒例行事は、多くの市民の皆さまに親しまれていると伺っております。地域に根ざしたこうした活動の数々に、心より敬意を表します。ユニセフでは、子どもの権利条約の普及に努めておりますが、世界では依然として紛争や気候変動による自然災害など、子どもたちの命と未来が脅かされる状況が続いております。今後も皆さまの温かいご支援と行動力によって、さらに多くの子どもたちに希望と笑顔が届けられることを願ってやみません。結びに、茨城県ユニセフ協会設立15周年を迎えるにあたり、これまでご尽力いただいた関係者の皆さまに深く感謝申し上げますとともに、貴協会のますますのご発展と、皆さまのご健勝、ご多幸を心よりお祈り申し上げます。

15周年を迎えて

茨城県知事
大井川　和彦

ごあいさつ

茨城県ユニセフ協会が設立15周年を迎えられますことを、心からお慶び申し上げます。
加速度的に進む人口減少、科学技術の驚異的な進歩など、私たちを取り巻く環境は大きく変化しており、こうした激動の時代を生き抜くためには、子どもたちが確かな学力と豊かな人間性を有することに加え、世界の様々な課題に目を向け、自ら考える機会を提供することが重要であります。
こうした中、貴会におかれましては、設立以来、子どもたちの生命と健やかな成長を支えるため、県内各地での募金活動や世界の子どもたちの現状を知る学習会、パネル展の開催など、地域に密着した活動を幅広く展開されており、深く敬意を表する次第です。
県といたしましては、友好提携都市をはじめとする海外との交流事業やＪＩＣＡ海外協力隊への参加促進などを通じて、経済交流や人材交流を促進し、グローバル社会で活躍できる「人財」づくりに努めてまいりますので、引き続きご理解とご協力をお願い申し上げます。
結びに、貴会のますますのご発展と関係者の皆様方のご健勝をお祈りいたしまして、お祝いの言葉といたします。

水戸市長
高橋　靖

ごあいさつ

このたび、茨城県ユニセフ協会が設立１５周年を迎えられましたことを、心からお喜び申し上げます。
貴協会におかれましては、２０１０年の設立以来、募金活動や広報活動、学習会等の企画・運営に取り組まれ、世界のこどもたちの命と健康を守るための支援活動を続けてこられたことに、深く敬意を表します。
本市では、まちの未来を創っていく「こどもたち」をまち全体で育んでいくことを最重要政策とし、こどもを生み育てやすい環境づくりとともに、水戸ならではの魅力ある教育に重点的に取り組んでいます。こどもたちが安心できる環境で育まれ、こどもたちの夢が実現できるよう応援する取組を進めてまいりますので、引き続き、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。
今後も、皆様の地域に根ざした日々の活動が、こどもたちの健やかな成長へとつながっていくことを念願いたしております。結びに、設立１５周年を契機としまして、貴協会がますます発展されますことと、皆様の更なるご活躍とご健勝をお祈り申し上げまして、お祝いの言葉といたします。

15年のあゆみ　2010～2025

2010

1/28　日本ユニセフ協会支部設立準備会発足
7/23　(財)日本ユニセフ協会茨城県支部
　　発起人会立ち上げ。
10/22(財)日本ユニセフ協会茨城県支部
　　設立大会開催。

2011

1月　モルディブの栄養と環境教育募金活動
　　(2011 年～2013 年まで実施)
2/26～3/6　インドネシアスタディツアー
　　(ユニセフの支援活動を視察しました。)
4/1　公益座右団法人日本ユニセフ協会協定地域組織
　　「茨城県ユニセフ協会」に名称を変更。
3/11 東日本大震災発生
7 月～9 月東日本大震災被災地のユニセフ支援活動を
　　知らせる写真パネル展を各地で開催

2012

9/22～29 モルディブ指定募金スタディツアー
　　(募金の活用状況、現状等視察して来ました。)
9/29～10/21 ブータンユニセフ写真パネル展
　　(つくば市クレオ)
10/20　UAE イスラムの女性についての学習会
10/30　アフガニスタン学習会

2013

1/22～3/20
　3.11 東日本大震災報告写真展
　　(茨城県近代美術館・入場者数 13,851 人)
8/11　水戸ホーリーホックユニセフサッカー教室
　　(ケーズデンキスタジアム)
9/4　　被災地支援グッズ贈呈
　　(仙台市みやぎ子ども支援センター)

2014

1 月「インド女子教育」指定募金取り組み開始。
2/19　笠間市南中学校　ユニセフ人権学習会開催。
3/2　　FC 水戸ホーリーホックホームゲーム
　　募金活動を開始しました。
6/10.11 ユニセフキャラバンキャンペーン
　　日本ユニセフ協会学校事業部　　県庁訪問。
　　メッセージの交換。教職員対象学習会実施。
　　新荘小学校、桜ノ牧高等学校学習会実施。

2015

4 月ネパール大地震緊急募金活動に取り組みました。
7/8 鉾田市旭南小学校ユニセフ学習会
9/13 設立 5 周年記念講演会(茨城大学)
講師:元 WFP アジア地域局長忍足謙朗氏
多くの方々ご協力やボランティアの力を合わせて開催することが出来ました。

2016

2/2 樺穂小学校ユニセフ学習会
3/13～19 インド指定募金スタディツアー参加
10/29 北茨城市精華小学校祭り参加
10/23 茨城朝鮮学校ウリハッキョ参加
12/9 ユニセフチャリティゴルフ大会

2017

5/17～26 丸井水戸店写真パネル展
「アグネスが見た・一筋の光」
6/25 ユニセフのつどい in ミオス
講師:安田菜津紀さん
8/5 イオンモール土浦 外国コイン仕分け体験

2018

2/13 いばらきコープ南西ブロック
ユニセフミニ学習会＆Bag 作り
2/17 イオンモール水戸内原
こみっとフェスティバル参加
3/31 つくばみらい市
きらくやま桜まつり
4/8 北茨城市ふれあいセンター
映画会「LION25 年目のただいま」
6/9 龍ヶ崎市たつのこフィールド
全国大学サッカー連盟試合イベント参加

2019

1/12～2/11 土浦市民ギャラリー
「ユニセフによる戦後支援」写真パネル展開催
4/29 ユニセフラブウォーク
鹿島神宮にて開催
7/29 那珂市木崎学童クラブ ユニセフ学習会
9/16 ジュニアエコノミーカレッジ
ユニセフ募金活動
11/17 ユニセフスマホサミット つくば国際会議場

2020

1/30
大成女子高等学校外国コイン授与&学習会
2/27
茨城県国際交流協会外国コイン募金 21.6kg
＜新型コロナウイルス感染症拡大「緊急事態宣言」発令のため様々なイベントが中止＞
6 月 9 日～7 月 14 日
水戸市国際交流協会ユニセフ活動紹介展示
6/3　岩手県小袖保育園に甚平送付。
10 周年記念講演会 web 配信準備のため zoom 配信試験を繰り返し行いました。
9/13　10 周年記念講演会
　講師：安田菜津紀氏 zoom 配信にて開催
11/27　水戸市堀原小学校　ユニセフ学習会
12/16.23　茨城大学付属中学校
　　SDGs 学習会 Zoom 配信にて実施。

2021

2/6.・2/21・2/27
　小山ママ友 G オンラインユニセフ学習会
3/6　つくばみらい市ユニセフ学習会
　　ボーイスカウト取手第 3 団
5/8　オンラインイベント「アフリカと
　　繋がるユニセフとスポーツ」
6/6　ユニセフのつどい　オンライン
　「渋谷敦氏　スライドトークイベント」
　～いまこそ、カメラを持って人々のただ中へ～
7/4　オンラインイベント
「パラアスリートと見てみよう　アフリカとスポーツ」

2022

3/21　ユニセフ・ラブウォーク in 茨城県植物園
3/27　つくばみらい市きらくやま桜まつり
3/29　東海村ウクライナ募金贈呈
6/2～12　茨城県立図書館
渋谷敦志氏写真展「国境のない世界をゆめみて」
8/10　いばらきコープ中部ブロック
　　オンライン学習会「ユニセフすごろく」
9/18　渋谷敦志氏オンライン講演会
9/29　栃木県教育委員会主催
　「人権教育担当者スキルアップ研修

2023

2/12　ガールスカウト茨城県連盟中央地区
　　「スカウトのつどい」ユニセフ競演会
2/14　笠間市立友部小学校＆マラウイ交流
友部小学校4年生とマラウイの小学生がオンラインで交流をしました。
5/13～6/11　渋谷敦志氏ウクライナ写真展
6/3　　渋谷敦志氏ウクライナ写真展
　　＆ギャラリートーク
6/21　栃木県益子小学校ユニセフ学習会
9/17　ユニセフ・ラブウォーク in 日立
10/1　プレスポーツ水戸イベント参加
11/5　「ひたち国際文化まつり」参加

2024

2/23・3/13　茨城映画センター主催
　「ガザ支援映画上映会」パネル展示参加
3/20　国際理解講座　水戸市民会館大会議室
　　＜緊急支援の現場では＞
5/29　栃木県矢板中央高等学校　人権学習会
7/15　国際理解講座　水戸市民会館中会議室
「コマツ」対人地雷とコミュニティ開発支援とは
9/28　国際理解講座　水戸市民会館中会議室グローバルな衛生課題の解決に向けて
　　～世界中にトイレと手洗いを～
11/9　東海村環境フェスティバル
　　村松学童クラブブースへ参加

2025

2/11「メイドインバングラデシュ」
映画上映会　茨城大学
3/20　ウニセフラブウォーク in かしま

地域とともに

茨城県国際交流協会外国コイン募金

田尻小学校募金贈呈

つくばみらい市どんぐり公園

ユニセフキャラバン

地域とともに

ユニセフパネル展示

茨城映画センターウクライナ募金贈呈

那須特別支援学校ユニセフ学習

美の浜学園ユニセフ学習会

高久小学校ユニセフ学習

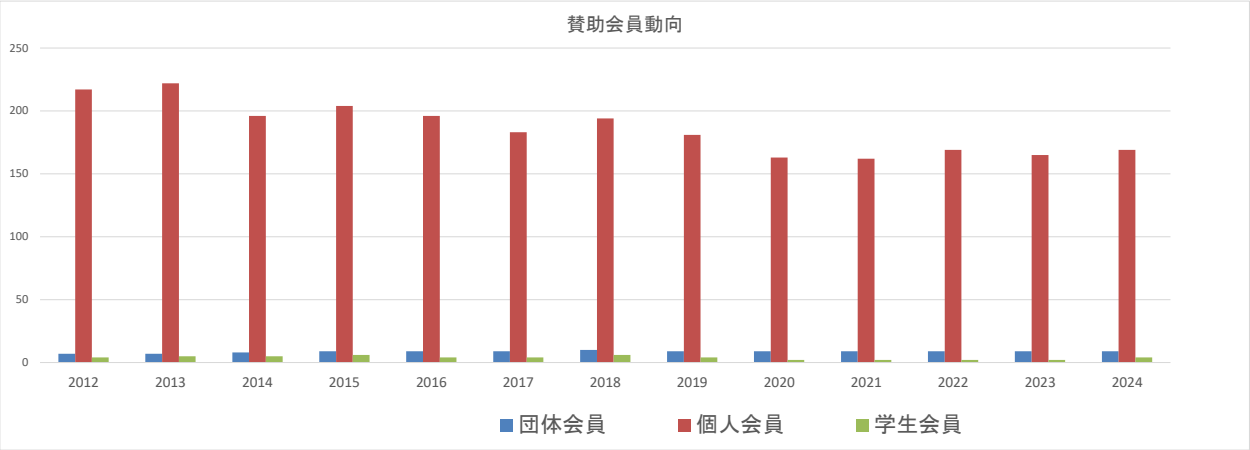
こみっとフェスティバル参加

ハンドインハンド募金

北茨城サッカーフェスティバル

茨城県ユニセフ協会賛助会員動向

	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
団体	7	7	8	9	9	9	10	9	9	9	9	9	9
一般	217	222	196	204	196	183	194	181	163	162	169	165	169
学生	4	5	5	6	4	4	6	4	2	2	2	2	4



団体賛助会員様

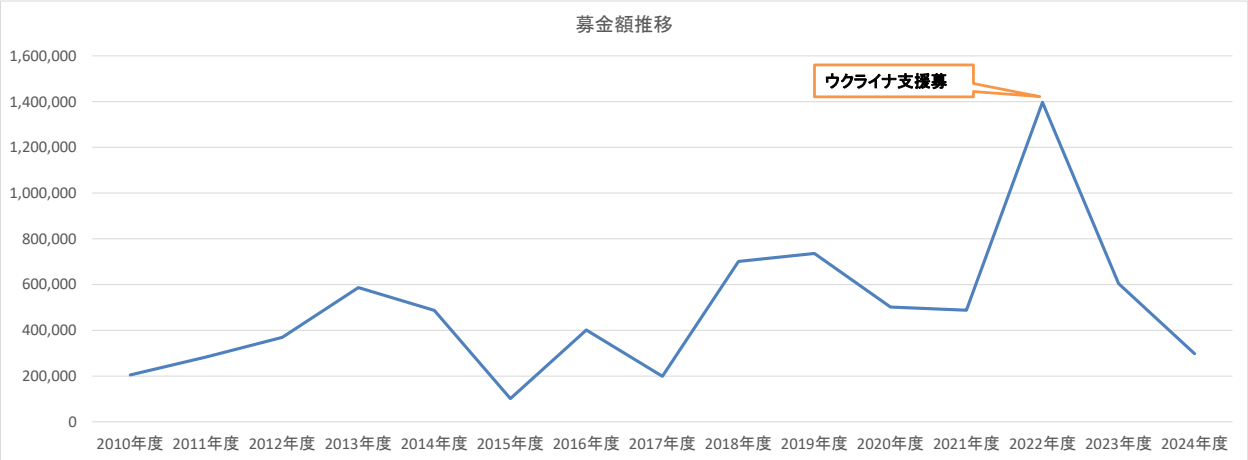
茨城県学校生活協同組合様　茨城県民生活協同組合様　いばらきコープ生活協同組合様

茨城県生活協同組合連合会様　茨城保健生活協同組合様　(株)常陽銀行様

生活協同組合パルシステム茨城　栃木様　茨城県農業協同組合中央会　(株)筑波銀行様　(順不同)

＜茨城県ユニセフ協会県協会受け入れ募金動向＞

2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
204,789	283,610	369,450	586,943	487,240	101,265	401,265	198,845	701,293	736,208	501,709	487,524	1,396,879	604,485	298,197



ユニセフってなあに？

★ユニセフ（UNICEF:国際連合児童基金）は、子どもの権利を守り、子どもが持って生まれた能力を十分に発揮できる機会を広げるために活動する国際連合の機関です。155の国と地域で教育、保健、水と衛生、栄養、保護などの支援活動を通して、子どもたちの健やかな成長を支えています。

★ユニセフ協会（国内委員会）は、国連機関であるユニセフ（国連児童基金）を中心としたグローバルネットワークの一部として活動する組織で、他の多くの国連機関にはない特別な顔をユニセフに持たせています。現在、ユニセフ協会（国内委員会）は、世界 36 の先進国・地域に、各国の国内法により、非政府組織として設置されています。

★協定地域組織は公益法人日本ユニセフ協会と「協力協定」を締結し、ユニセフの趣旨に基づき、ユニセフへの協力活動を推進する独自の任意団体です。当該県・地域を代表するユニセフ活動の拠点として、また地域の社会・文化に根づいたユニセフの広報・募金活動を実施しています。

★全国に 27 の協定地域組織が活動しています。

日本ユニセフ協会とは

公益財団法人日本ユニセフ協会は（国内委員会）は、世界32の先進国にあるユニセフ国内委員会のひとつです。1955年に設立し今年で70周年を迎えます。日本国内において、民間で唯一、ユニセフを代表し、募金活動、広報活動「子どもの権利条約」の実現を目的とした、アドボカシー（政府提言）活動も行っています。

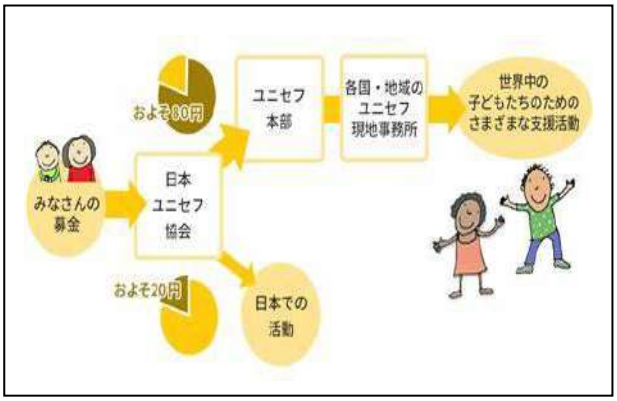
茨城県ユニセフ協会とは

（公財）日本ユニセフ協会と協定を結んだ協定地域組織として学習会や広報活動を通して茨城県内外にユニセフについて広める活動をしています。

外国コイン募金とはとは

海外旅行や出張で使い残した外国コインや紙幣。日本では換金することができずにご自宅などに眠ってしまう＜タンス外貨＞を子どもたちのために役立てられるのがユニセフ外国コイン募金です。

ユニセフの組織と募金の流れ



ユニセフと SDGs

ユニセフは、持続可能な開発目標（SDGs）の達成に向けて、特に子どもたちの権利と福祉を守るために重要な役割を果たしています。

SDGs（持続可能な開発目標）は、2030 年までに達成すべき 17 の目標から成り立っています。これらの目標は、貧困の撲滅、教育の普及、環境保護など、地球規模の課題に対する包括的な取り組みを示しています。特に「誰一人取り残さない」という理念が強調されています。

ボランティアの皆さん

庵原秀子さん

この地球のどこかで、今も紛争が起きています。多くの市民が巻き込まれ、そして犠牲になるのはこれからの未来がある子どもたちです。そういう人々に手を差し伸べるユニセフに、私もささやかな支援をと願っています。

佐々木和賀子さん

設立準備をしていた事務局長と出会って、ボランティアになってから15年が経ちました。学習会、講演会の手伝いを自分のできる範囲で協力してきました。15年の年月は体力的にも衰えてきましたが、これからもボランティアとして少しでも協力できたらと思います。

飯塚美世子さん

今、世界では戦争や紛争、飢餓、貧困、差別など多くの問題を抱えています。世界の子供たちを取り巻く環境も厳しい状況にあり、子供たちの権利も脅かされています。ユニセフを通して、子供たちが幸せに暮らせるように、微力ですが、お手伝いできればと思っています。

塙　直子さん

茨城県ユニセフ協会がスタートしたころ、東日本大地震があり、県立美術館で「3.11.東日本大地震ユニセフ写真展」があり、暖房もない中、展示の準備をしたことを思い出しました。ユニセフの楽しさ、喜びをこれからも広げていきましょう。

関　さとみさん

茨城県ユニセフ協会15年の活動の中、約１０年ボランティアとしてかかわらせていただいています。残念なことに最近の5年間で世界情勢も私の周りの環境も大きく変わりました。でもコロナ禍で活動が制限されたことはオンライン化の転機になりました。ウクライナの戦争もまだ終わらず、日本を含め世界の厳しい状況が今も続いていますが、子どもたちの笑顔のために自分の出来ることをやっていきたいと思います

山下潤子さん

100年に一度といわれる東日本大震災に始まり、コロナウイルスの蔓延、ロシアによるウクライナ侵攻、イスラエルのガザ侵攻と15年前には想像もしていなかった事象が次々と起き、私たちの今までの活動ではとても対応が難しいことがありました。なんとか新しい配信方法などを取り入れ乗り越えてきました。これからも、柔軟な考え方を持ってユニセフを広めていきたいと思います。

播田実ひろ子さん

茨城県ユニセフ協会設立から関わり、活動をしてきました。いろいろなことがありましたが、ボランティアの皆さんと活動をしてきました。あっという間の15年でした。ユニセフ活動は私にとって様々なことを学び、たくさんの方々と交流ができたことです。この活動をたくさんの方に知ってもらいたいです。これからもできることを続けていきたいと思います

山本道子さん

退職を機にボランティアに参加させていただくこととなり、とても幸せなことだと感謝しています。日本の子どもたちも戦後は飢餓に苦しんでいました。その時はユニセフに援助していただき、とても助けられたそうです。私もその恩恵にあやかった一人です。その後も世界で飢餓は絶えません。とても心が痛むことです。困難な生活を送る国や地域の子どもたちが安全で安心して生きていけように、私にできることをしていきたいと思います。

藤野寿江さん

ボランティア活動を通して毎回新たな学びを得ています。スタッフの皆さんと活動に関われることにも感謝しています。活動は多岐に渡っていますが、なかでも未来を担うこどもたちに向けてユニセフの活動を発信していくことは子どもから周囲の大人への関心の輪を広げていくので大切に感じています。多くの方々にユニセフへの理解を深めていただき、世界中がより良い方向に向かうことを願っています。

白水真美さん

ユニセフの活動に参加してまだ日が浅い私ですが、子どもたちのために何かをしたいという思いで一歩を踏み出しました。先輩スタッフの皆さんと楽しく活動し共に学ばせていただけることに感謝しています。また支援の輪が地域に根付いていることを活動を通して実感しています。15周年という節目に立ち会えることを嬉しく思い、これからも自分にできることをひとつひとつ積み重ねていきたいです。

2025年度茨城県ユニセフ協会 役員

県協会役職	お名前	所 属 役 職 名	
顧問	大井川和彦	茨城県	知　事
顧問	高橋　靖	水戸市	市　長
会長	太田　寛行	国立大学法人　茨城大学	学　長
副会長	沼田　安広	(株)茨城新聞社	代表取締役社長
	八木岡 努	茨城県農業協同組合中央会	代表理事会長
	鶴長　義二	茨城県生活協同組合連合会	会長理事
専務理事	井坂　寛	茨城県生活協同組合連合会	専務理事
理事	柳橋　常喜	茨城県教育委員会	教育長
	潮田　勝利	(社福)茨城県社会福祉協議会	事務局長
	北島　重司	(株)茨城放送	取締役会長
	渡辺　祐子	日本放送協会　水戸放送局	放送局長
	沼田　邦郎	(社)ホーリーホックIBRAKI	代　表
	久保田利克	日本労働組合総連合会茨城県連合会	会　長
	松崎　信夫	(一社)茨城県医師会	会　長
	榊　正幸	(公社)茨城県歯科医師会	会　長
	須能　俊光	(公財)茨城県国際交流協会	事務局長
	加藤　祐一	(一社)茨城県経営者協会	専務理事
	高輪　忍	(株)　常陽銀行	取締役常務執行役員
	木幡　浩	(株)　筑波銀行	取締役
	岡本　俊一	関彰商事株式会社	専務取締役
	木村　千秋	いばらきコープ生活協同組合	理事長
	光畑 由佳	有限会社　モーハウス	代表取締役
監事	堀江　英夫	茨城県商工会議所連合会	専務理事
	青木　恭代	生活協同組合パルシステム茨城 栃木	理事長
評議員	町田　満	茨城県子ども会育成連合会	理事長
	宮本　京子	ガールスカウト茨城県連盟	連盟長
	宮田　俊光	日本ボーイスカウト茨城県連盟	理事長
	永田　恭介	国立大学法人　筑波大学	学　長
	笹尾　光	茨城キリスト教学園	理事長
	小櫃　重秀	学校法人常磐大学	理事長
	上野　裕一	流通経済大学	学　長
	藤枝　祥子	茨城県学校長会	会　長
	堀江　満	茨城県庁生活協同組合	専務理事
	中山　幸男	茨城県学校生活協同組合	理事長
	木村　泉	茨城保健生活協同組合	理　事
	関　隆志	茨城県民生活協同組合	理事長
	磯邉　晋吾	茨城県森林組合連合会	代表理事専務
	関　政行	茨城沿海地区漁業協同組合連合会	参　事
	飯倉　裕之	こくみん共済COOP	事務局長
	内山　裕	中央労働金庫茨城県本部	常務理事
	菊池　誠	(一社)茨城県労働者福祉協議会	事務局長
	松下英志	毎日新聞社水戸支局	支局長
	樫本　淳	朝日新聞水戸総局	総局長
	三浦　馨	産経新聞社水戸支局	支局長
	加藤　裕治	東京新聞社水戸支局	支局長
	都澤　貴征	時事通信社水戸支局	支局長
	山本俊一郎	共同通信社水戸支局	支局長
	大田 健吾	読売新聞水戸支局	支局長
	藤代 範雄	(株)藤代範雄デザイン事務所	代表取締役
	マギー司郎	オフィス樹木	
	上西　大介	東京海上日動火災保険株式会社	茨城支店長
	亀井比志子	茨城県消費者団体連絡会	会　長
	松田　映嗣	共栄火災海上保険株式会社	東関東支店副支店長兼水戸支社長

2025年7月現在

未来に向けて

２０１０年に設立した、茨城県ユニセフ協会は多くの皆さまのご支援、ご協力をいただき、設立１５周年を迎えることとなりました。迷走しながら、時には立ち止まり、先輩地域組織の活動をお手本に企画。学習会や講演会では様々な講師の方との出会いとともに、活動できた１５年です。
設立１０周年の時には新型コロナウイルスの感染拡大の影響で対面での活動に制限もあり、学習会や募金活動をはじめとするユニセフ活動はできなくなるのではという心配に「活動は止めてはいけない」「できないことにとらわれるのではなく、できることを探していこう。」幾度となくこの言葉に励まされ。ボランティアのみなさんの声が大きな力となりました。
新型コロナ感染症の拡大が落ち着きを見せたころ、ロシアによるウクライナ侵攻という、大国がその力を見せつける暴挙。まだ、ウクライナに平穏な日常は戻っていません。そして、あらたに勃発したイスラエルによるガザの悲劇。安住の地を奪われ、命の危険にさらされている多くの子どもたち。日本に住む私たちに、戦車が目の前に迫る恐怖を感じることはなかなか難しい。しかし、SNSなどには日常的に悲惨な映像も届き、ニュースからも、その恐怖を想像することもできるでしょう。
ウクライナやガザだけではない多くの困難な状況に暮らす人々に届ける「私たちにできることは何がある？」ということを考え、１５周年からまた、２０周年にむけて茨城県ユニセフ協会の活動をつなげていこうと思います。
引き続き皆さまのお力添えをいただき、活動を広げてまいります。

公益財団法人日本ユニセフ協会協定地域組織
茨城県ユニセフ協会
〒310-0022　水戸市梅香1-5-5茨城県JA会館分館5F
℡　029-224-3020　fax　029-224-1842
Email ozawa@ibaraki-kenren.coop

発行：2025年7月

公式HP

unicef

for every child